

## 山口情報芸術センター [YCAM] レクチャーシリーズ

## 「YCAMメディア・キッチン—知的好奇心を満たす連続レクチャー」

2010年6月12日(土)、10月23日(土)、2011年1月22日(土) [全3回]

各回 15:30-17:00 入場無料 ※申込制

山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ 定員：60名

## YCAMの新しいレクチャーシリーズが、いよいよスタート！

## 日常にあるテーマ「衣・食・住」から、私たちを取り巻く情報化社会を考える

山口情報芸術センターでは、活動テーマのひとつである「メディア表現」について、利用者のより広い理解を促すことを目的とし、新しいレクチャーシリーズ「YCAMメディア・キッチン」をスタートいたします。

全3回のレクチャーでは、日常生活における「衣・食・住」をテーマに、個性的な活動を展開するアーティストや専門家が講師を務めます。料理や服飾、住空間などを切り口に、生活の延長にあるメディアテクノロジーの存在や、日常に潜む情報化の方法や役割など、好奇心を刺激する内容を披露します。専門家のユニークな視点を通じ、現代に生きる私たちに必要な情報の応用力や活用力、そして日常生活に彩りを与える新たな価値観に出会うことができます。ぜひ、ご参加ください。

主催：財団法人山口市文化振興財団  
後援：山口市、山口市教育委員会  
平成22年度文化庁芸術拠点形成事業  
企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

※会場の都合により、第1回目の開催日が6月5日(土)から12日(土)に、第2回目の開催日が10月16日(土)から23日(土)に変更となりました。告知後の変更になり、関係者のみなさまには多大なご迷惑をおかけいたしましたこと、お詫び申し上げます。

ぜひこの機会に、取材や記事掲載ご協力いただけますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM] 広報担当：廣田

TEL：083-901-2222 FAX：083-901-2216 e-mail：information@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市中園町7-7 <http://www.ycam.jp/>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



第1回 講師：中山晴奈(フードデザイナー)  
「あぜ道で、地域の方達とケータリング」

## 第1回概要

YCAMメディア・キッチン—知的好奇心を満たす連続レクチャー vol.1  
「“フードデザイナーの視点” — アルゴリズム・クッキング」

2010年6月12日(土) 15:30-17:00

講師：中山晴奈(フードデザイナー)

## 申込方法

はがき・FAX・e-mailにて、住所、氏名(ふりがな)、性別、生年月日、電話番号・e-mail等連絡先とともに、下記へお申し込みください。

〒753-0075 山口市中園町7-7 FAX：083-901-2216

e-mail：workshop10@ycam.jp

## 第1回目のテーマは、「食」と「アルゴリズム」

講師は、料理を通じた表現活動を追求する、気鋭の女性作家

フードデザイナーの視点とは？ アルゴリズム・クッキングとは？

「YCAMメディア・キッチン」第1回目は、「食とアート」をテーマに、ケータリングやフードデザイン、そしてワークショップなどを通じ、現在における「食」のあり方を超越した、「次の食」を提案するフードデザイナー、中山晴奈さんを講師に迎えます。

栄養や健康、おいしさや豊かさだけでなく、経済や産業、人間の生態にまで関わる「食」。それは、何かと何かをつなぐ、無限のメディアとも考えられます。食をデザインする中山さんの活動から「メディアとしての食」、さらには現代における「メディア」自体についても考えていきます。

また、本レクチャーでは、「料理とアルゴリズム」という、一見異なる二つの分野も重要なキーワードとなります。コンピュータの機能にある、速く、大量に結果を導くための手順。この最も効率的で最適な手順を示すアルゴリズムの存在は、料理の世界にも当てはまります。ある料理の調理方法を具体的な例とし、簡単なゲームを体験しながら、レシピに隠された方法や原理、情報化社会の仕組みに迫ります。

「食はアートと同様、様々な分野に結びつくから面白い」という中山さん。その話には、「食とアート」から社会の様々な事柄をユニークな視点で観察、研究する姿勢が伺えます。本レクチャーでも、知的好奇心を刺激するたくさんの話題が期待できます。

<レクチャーのながれ>

### 1. イントロダクション

講師によるプレゼンテーションと、「料理から見たアルゴリズム」の説明。

- ・アルゴリズムとは？
- ・料理に存在するアルゴリズムを考える
- ・食とアートの共通点

### 2. デモンストレーション

講師が特別に用意した料理のサンプルを紹介。「アルゴリズムと料理」の関係性を解説。

- ・アルゴリズムが崩壊したときの料理とは？

### 3. ミニワークショップ

参加者がグループとなり、日常におけるアルゴリズムの存在を考える。

- ・日常にあるアルゴリズムを発見する

### 4. まとめ/リレクシオン

ワークショップの成果発表。それぞれの発表内容を元に、講師が解説をおこなう。

### <講師プロフィール>



#### 中山晴奈 | Haruna Nakayama

1980年、千葉県生まれ。筑波大学芸術専門学群総合造形コース卒業、東京藝術大学大学院先端芸術表現専攻修了。在学中より、食べものをつかった美術表現の歴史、また「絵画の中の食モチーフ」を研究テーマにする。大学院在学中よりケータリングユニット.automealを設立、アートと食をつなげる表現活動として、美術館や博物館のパーティーデザインと出張料理、ワークショップなどをおこなう。

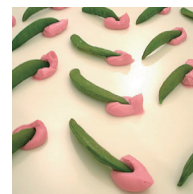
大学院修了後、川口市立映像情報メディアセンターで市民向けメディアリテラシーのワークショップ等を企画運営しながら、週末起業のかたちでケータリングと食のデザインの活動を継続。

2008年よりNEXT KITCHENとして、情報と空間のスペシャリストstudioNODE株式会社の建築スタッフとともにケータリング事業をおこなう。2009年10月よりフリーランス。2007年より女子美術大学非常勤講師、華調理師専門学校講師。

<http://nextkitchen.net/>



中山晴奈「QRケーキ」(ウェディングパーティー、2009)



.automeal「五感で食べるスイーツ」(BankART1929、2006)

## YCAMの新しいレクチャーシリーズ「YCAM メディア・キッチン」

身近な視点から、体験的に、現代社会における「メディア」を学ぶ

日常生活に彩りを与える、新たな価値観を提供する場所

YCAMでは、メディアテクノロジーを用いた新しい表現について「触れたことがない」「もっと知りたい」と考えている鑑賞者に向けて、より有意義に作品を楽しめるよう、様々な教育普及プログラムを実施しています。今回のレクチャーシリーズは、YCAMの活動テーマのひとつである「メディア表現」が扱う広汎なテーマを、より身近に捉えていくことを目的としています。

多様なメディアとともに変化する社会やコミュニケーションを前に、その仕組みを理解し、ユーザ自身が創造的に技術やツールを使いこなす方法を模索することは、今後ますます重要となると言えます。「YCAMメディア・キッチン」は、身近なトピックからメディアを考え、体験を通じて理解を深める、新しい形式のレクチャーです。「メディア」という言葉に慣れ親しみのない方も、生活における「衣・食・住」を切り口としたユニークな視点から、情報化社会における技術やツールの存在を学ぶことができます。

YCAMと鑑賞者をつなぐメディア、そして新しいアイデアを生む場所、キッチン。3回のレクチャーを通じ、日常生活に彩りを与える新たな価値感を発見することができます。

### YCAMメディア・キッチン

— 知的好奇心を満たす連続レクチャー

第1回

6月12日(土) 15:30-17:00

「フードデザイナーの視点」— アルゴリズム・クッキング」

講師：中山晴奈(アーティスト)

第2回

10月23日(土) 15:30-17:00

※レクチャー内容、講師については、5月初旬に発表予定

第3回

2011年1月22日(土) 15:30-17:00

※レクチャー内容、講師については、11月初旬に発表予定



これまでのYCAM教育普及レクチャーの様子

#### 開催概要

YCAMメディア・キッチン— 知的好奇心を満たす連続レクチャー vol.1

「“フードデザイナーの視点” — アルゴリズム・クッキング」

2010年6月12日(土) 15:30-17:00

山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ

講師：中山晴奈(フードデザイナー)

入場無料 ※申込制

#### 申込方法

はがき・FAX・e-mailにて、住所、氏名(ふりがな)、性別、生年月日、電話番号・e-mail等連絡先とともに、下記へお申し込みください。

〒753-0075 山口市中園町7-7 FAX: 083-901-2216

e-mail: workshop10@ycam.jp

主催：財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市、山口市教育委員会

平成22年度文化庁芸術拠点形成事業

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]



■未就学児入場不可。

■託児サービス

対象：0才(6ヶ月)以上

託児時間：開演の30分前から終演30分後まで

料金：お子様1人につき500円、2人目以降は1人につき300円

申込方法：6月5日(土) までに下記までお申し込みください。

山口市文化振興財団チケットインフォメーション(YCAM内)

083-920-6111 (10:00-19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)